

いきものまちづくり ～追大における実践例の紹介～

2017年7月8日(土)

追手門学院大学 地域創造学部

今堀洋子(神子名:聰慧)

maho0927@gmail.com

本日のトピックス

1. 追大ミツバチプロジェクト
2. エディブル・スクールヤード

①追大ミツバチ プロジェクト



数年前キャンパスそばのご神木のムクノキに 天然のミツバチの巣を発見！



2014年4月

- プロジェクト発足
- ムクノキに隣接する納屋に巣箱を設置
- ニホンミツバチについて専門家からお話を伺う
- 巣箱の見回り開始
- チーム編成



5月

- ◆ 巣箱にニホンミツバチの群衆
- ◆ キャンパス内に巣箱の移動
- ◆ ニホンミツバチの観察スタート
- ◆ 紙芝居の作成
- ◆ 大阪府への養蜂申請



6月

- ◆ 二つ目の巣箱にもニホンミツバチの群れ
- ◆ 紙芝居の上映（箕面市）
- ◆ 幼虫のポイ捨てが起こる
- ◆ ミツバチガーデンプロジェクトの提案



7月

- ◆ ゆかた祭りに参加
- ◆ 名古屋学院大学から学生養蜂サミットへのお誘い
- ◆ 順調に数を増やしていたニホンミツバチだが、7月末に逃亡発覚



2nd Year Honeybee Project(2015)

- ◆ Apr –May
 - ◆ ニホンミツバチを捕獲できなかった(T_T)
- ◆ July
 - ◆ セイヨウミツバチに転向
- ◆ Aug – Nov
 - ◆ スズメバチからミツバチを守りながら内検
 - ◆ 茨木市親子まちづくり塾でミツバチを披露
- ◆ Dec
 - ◆ 群が弱くなってしまったので、梅田ミツバチプロジェクトに里子に出す
- ◆ Jan-Mar
 - ◆ 四天王寺(梅田ミツバチプロジェクトのサイト)で、プロから養蜂を学ぶ





まなびやの宝：追手門学院大学 ミツバチプロジェクト /大阪

2015.08.22 地方版/大阪 23頁 (全667字)

[この記事印刷](#) 

◇飼育通し「環境」考える

追手門学院大（茨木市）に、ミツバチをキャンパスで飼育しながら、環境問題や町おこしを考える「追大ミツバチプロジェクト」という授業がある。指導する今堀洋子准教授（48）＝環境工学＝と20人の学生は全員が養蜂の素人。専門家を訪ねたり、資料を集めたりして、手探りで活動している。

「女王蜂はここにいる」「蜜がたくさんできているね」。4人の学生が巣箱を開けて、ミツバチの生育状況などを確認していた。

プロジェクトは、大学近くの神社の神木でニホンミツバチの巣を見つけた今堀准教授が考えた。ニホンミツバチは春に新しい女王蜂が生まれると、古い女王蜂の集団が引っ越す。昨春、学生が神木近くに巣作りできる箱を設置。箱で巣作りを始めたため、大学に持ち帰り飼育を始めた。

しかし昨年7月、突然箱からミツバチが姿を消した。2年連続で受講する経営学部3年の栢田裕幸さん（20）は「環境が整っていなかった。知識の大切さを実感した」と話す。

学生らは専門家に話を聞いた。「養蜂以外にもできることがある」と学んだことを物語りにして紙芝居を作り、地域の子どもたちに読み聞かせを始めた。養蜂に適した庭を造るプロジェクトも始めた。

今堀准教授は「学生は失敗しても次につなげていて、頼もしい」と顔をほころばせる。

今春もニホンミツバチは捕獲できなかった。6月に養蜂しやすいセイヨウミツバチを買い、養蜂技術を蓄積する。リーダーの経営学部2年、宮脇陽輔さん（20）は「おいしい蜂蜜を採って、大学の新しいブランド商品にしたい」と夢を膨らませる。【吉田卓矢】

4月12日からスタート

追大ミツバチプロジェクトさんが写真3件を追加しました。

作成者: Yano Eita [?] · 4月12日 16:52 · 🌐

いよいよ、追大ミツバチプロジェクト2016、始動いたしました！！
本日は1年間の流れを確認した後、
本校の校舎裏にあるセイヨウミツバチの巣、2群の観察に行きました！...
もっと見る



2016年4月17日の内検の様子です



3rd Year Honeybee Project 1 (2016 first half)

■ Apr - May

- 里子に出していたミツバチが戻ってきて2号館裏に巣箱設置、内検開始
- 近所に住む浅井さん(週末養蜂家)と一緒に養蜂
- 安威小学校の5年生にミツバチワークショップ開催



■ June

- 春の蜜採取(プロジェクト初!)

■ July

- 夏の蜜採取

■ Aug-

- 命がけでスズメバチからミツバチを守る取り組み



3rd Year Honeybee Project 1 (2016 last half)

■ Sep

- 採取したハチミツの名前、「あいみつ」に決定！
- お披露目のための準備



■ Oct

- 昭恵さんを公邸に訪問し、ミツバチ談義



■ Nov

- 玉川学園大学のミツバチ研究センターを訪問
- 将軍山祭に出店
- 大阪市の市民祭りに出展



■ Dec

- ミツバチ達の群が弱体化(T_T)

プロモーションビデオ



②エディブル・ スクールヤード



アリス・ウォーターズ



- ◆ 「食」への目覚めのきっかけ@パリの市場
- ◆ モンテッソーリ教育を実践する学校で5感を磨くことに注力
- ◆ 1971年カリフォルニア州バークレーに「シェ・パニーズ」というレストランをオープン
- ◆ 1994年近所で荒廃していたキング中学校でエディブル・スクールヤードをスタート

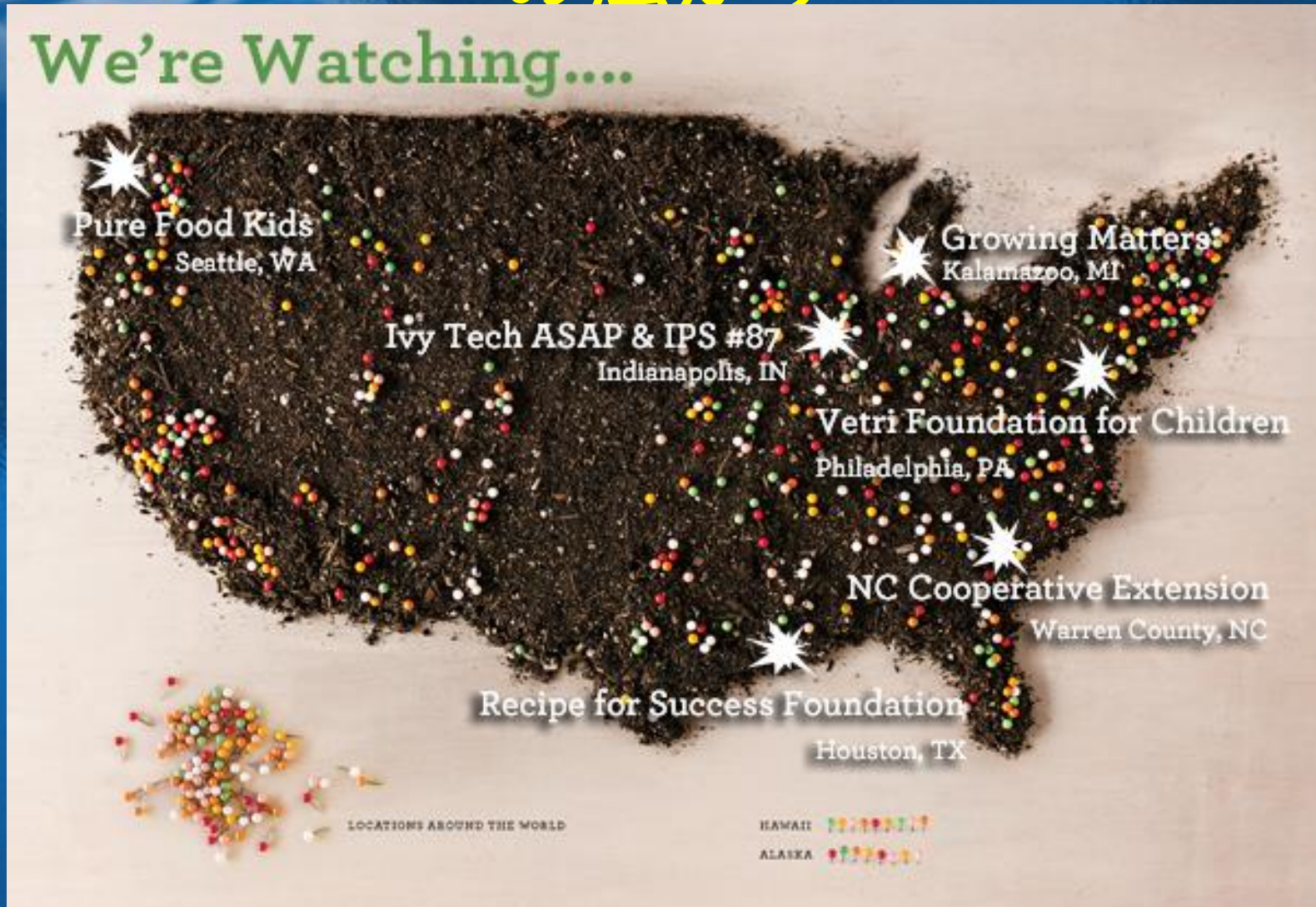
エディブル・スクールヤードの特徴

- ◆ ガーデニングクラスとキッチンクラスがカリキュラムの中心にある
- ◆ 生徒と教師と近所の人々が一緒になって働き、学ぶ
- ◆ 五感を活用する
- ◆ その場に身をおいて、体験することから始める
- ◆ 場所、食物、食べることに価値を置く
- ◆ 全ての子供達に、学校でフリーのランチを提供する



おいしい革命

米国内でのエディブル・スクールヤード の広がり



海外でのエディブル・スクールヤード の広がり



5331 Locations



5068 Garden Classrooms



714 Academic Classrooms



575 Kitchen Classrooms



53 Business



420 School Cafeterias

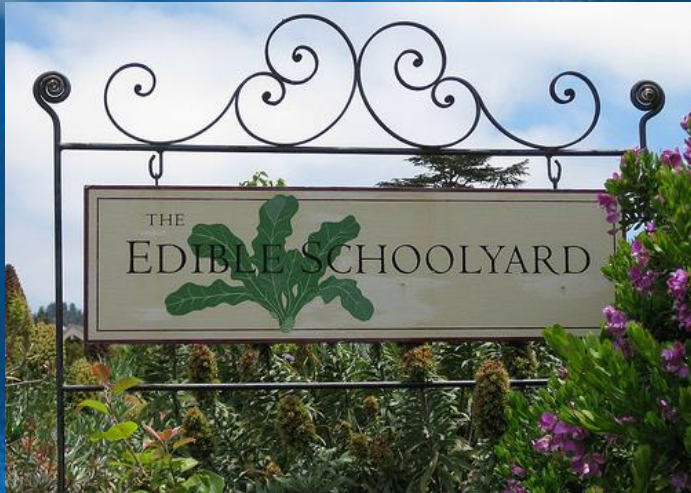


254 Support Organization



93 Farm Based

エディブル・スクールガーデンの様子



追大でのエディブル・スクールヤードの実践に向けて

- ◆ 2回生ゼミ(通年)で行ってみる
- ◆ 大学近隣の畑などで、自分達で食物を育てる
- ◆ パーマカルチャーに詳しい人達からアドバイスをもらう
- ◆ パーマカルチャーガーデンのデザインを試みる
- ◆ 地域の人々を巻き込む
- ◆ エディブル・スクールヤードのエッセンスを更に取り込む

2015年度教養ゼミ「地元の旬の食材を使って共に作り共にいただく」のカリキュラム

日付	内容	開催場所
15/09/30	オリエンテーション	教室
15/10/07	1回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
15/10/14	2回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
15/10/21	3回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
15/10/28	4回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
15/11/11	安威地域の畑の見学	中村さんの畑
15/11/18	今までの振り返り	教室
15/11/25	5回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
15/12/02	6回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
15/12/09	振り返りと今後のプランニング	教室
15/12/16	7回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
15/12/23	8回目のクッキングクラス	安威公民館の調理室
16/01/13	全体の振り返り	教室

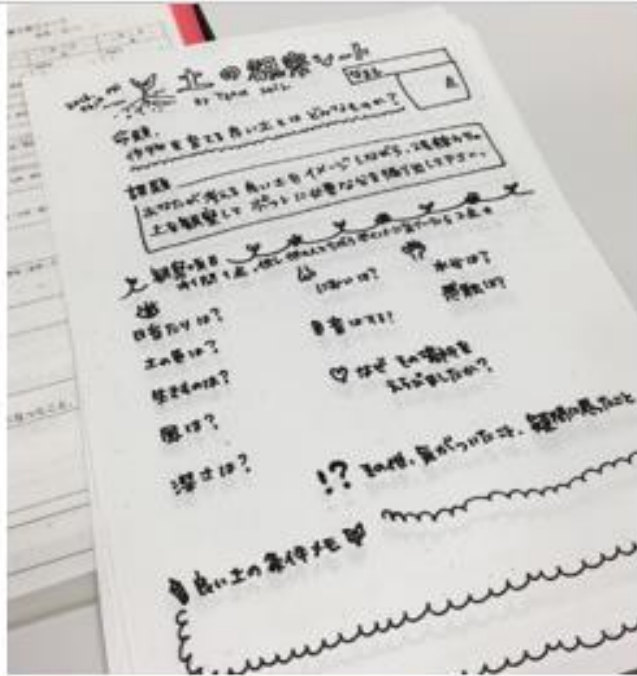
エディブル・スクールヤードと「地元の旬の食材を使って共に作り共にいただく」の比較

	エディブル・ スクールヤード	追手門学院大学 「地元の旬の食材で共に作り共にいただく」
ガーデン	学校内	近所の田畑
キッチン	学校内	近所の公民館
食材	地元	○
	旬	○
	作り手	生徒達
	オーガニック	○
大人のメンバー	クラスの担任 専門家(ガーデン・ティーチャー、 キッチン・ティーチャー) ボランティア など	授業担当の教員 ボランティア(教員の友人・知人)

教養ゼミ「地元の旬の食材を使って共に作り共にいただく」のキッチンクラス風景



2016年度の地域創造学部基礎ゼミでの実践 基礎ゼミでの「土の観察、種まき、苗植え、収穫」



キャンパス内のぎょうぎとお茶に使 われた摘み菜(平谷けいこ氏作成)



基礎ゼミ サバイバル合宿の風景



新キャンパスにエディブル・スクールヤード が導入された場合の地域創造的な意義

- ◆ 地域と連携した教育を目指すことにより、地域の教育力をあげることができる
- ◆ 地域の人々に関わっていただくことにより、異世代間交流がなされ、特にシニアの方々の居場所、活躍の場を提供することが可能
- ◆ ガーデンの開放、コミュニティ・キッチンや子供食堂の開設、食育の実施など、こどもの貧困に様々な形で、向き合うことが可能